



雪山の寒苦鳥

一年で一番寒い月が終わろうとしています。少しずつ春へ向かっているはずですが、まだまだ寒い日が続きます。寒がりな私は勇気を出して温かい布団から出る日々を重ねないといけません。今日は子どもたちに昔話を一つ紹介します。

むかしむかし、インドに、春でも夏でも雪が消えない寒い寒い「雪山」がありました。その山に「寒苦鳥（かんくちょう）」という宿無しの鳥が住んでいました。この鳥は、夜になると寒さにガタガタ震えながら「夜が明けたら巣を作ろう」と鳴きます。ところが、朝日がのぼって暖かくなると、夜の苦しみはどこへやら。「今を楽しまなければもったいない」と、巣を作らず遊び回ってしまいます。そして夜になると、「寒い、寒い。明日こそは巣を作るぞ」朝日がのぼると、また遊び回る……。そのくり返して、寒苦鳥は一生をむなしく過ごしてしまったそうです。

<おしまい>

この話を聞いて、少しドキッとした人はいませんか？

「宿題？あとでやるし」「これやるの、しんどいな。あとにしよ」
寒苦鳥と同じことをしていないでしょうか？

このお話は、いやなことを後回しにしてしまう人間の弱さを表しています。では、寒苦鳥が作らなければならなかった“巣”とは、何を表しているのでしょうか。それはきっと、

「楽しいことに流されない心」「苦しいことから逃げない心」
つまり「強い心」を表しているのだと思います。

学校でも、家でも、楽しいことはたくさんあります。でも同じくらい、しんどいことや「やだな」と思うこともあります。そんなときこそ、“今やるべきことをやる”その積み重ねが、みなさんの「強い心」という巣をつくっていきます。このお話を聞いて、「よし、今日ひとつだけ頑張ってみよう」う思ってくれたらうれしいです。

春は、もうすぐそこまで来ています。みなさんの心にも、あたたかい春がやってきますように。





3年生 音楽発表会



5年生 総合学習授業



4年生 2分の1成人式



1年生 学習発表会



2年生 学習発表会



6年生 茶話会

各学年の参観、ありがとうございました。参観で子どもたちの頑張っている姿を見ていただけたかと思えます。春とともに、次の学年も、もうすぐそこまで来ています。子どもたちのさらなる成長していく姿を、これからも一緒に応援していきたいと思えます。



「劇団Zooっと」の方に来ていただき、1年生の子どもたちに人形劇をしてもらいました。子どもたちはお話の中に入り込み、出てくる人形に声をかけ、人形がそれにこたえる場面もありました。